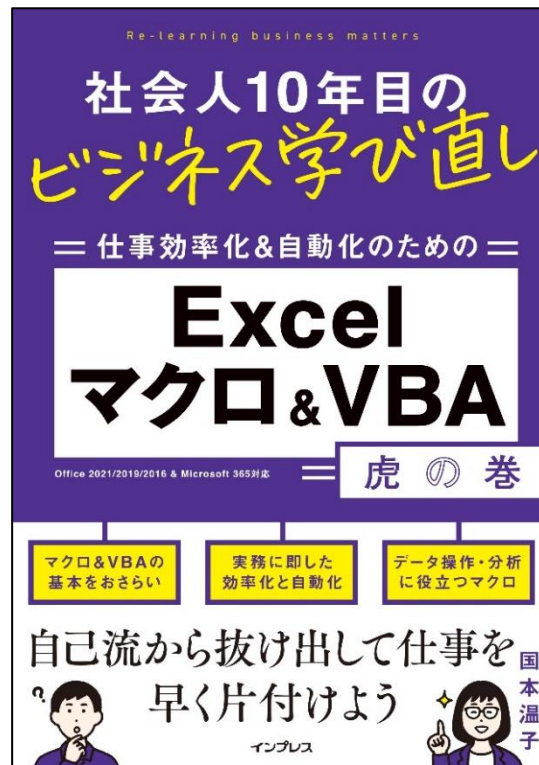


各 位

2023年9月25日  
株式会社インプレス

「なんとなく自己流で……」から抜け出す1冊！  
『社会人10年目のビジネス学び直し Excel マクロ&VBA 虎の巻』  
を9月26日（火）に発売

インプレスグループでIT関連メディア事業を展開する株式会社インプレス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：高橋隆志）は、ExcelのマクロとVBAのリスキリングに最適な『社会人10年目のビジネス学び直し 仕事効率化&自動化のためのExcelマクロ&VBA 虎の巻』を2023年9月26日（火）に発売いたします。



■社会人10年目で、なんとなく自己流でマクロを使っている人のための「学び直し」

リスキリングやリカレント教育の必要性が高まり、「学び直し」に注目が集まる昨今、Microsoft Excelのマクロをもう一度学びたいと思う方は多いはずです。例えば、「入社後の研修で一度は学習したものの、10年経ったら自己流になってしまった……」「基本をおさらいすれば、仕組みから理解して使えそうなもの……」など、そんなモヤモヤとした思いを抱く社会人の方は意外と多いのではと想像されます。

本書は、「社会人10年目」を迎えたあたりのビジネスパーソンで、上記のような悩みを持つ方を対象にした書籍です。仕事を効率よく行うために必須の「マクロによる自動化」に焦点を当て、実務でよく使うサンプルファイルを豊富に用意しました。マクロの仕組み、VBAの基本文法、よく使う構文を総点検し、基本からおさらいできます。VBAプログラムのサンプルファイルを約140本無償提供しているのも、動作確認しながら効率よく学び直せるのも特徴です。

■フルカラーで図解が豊富。プログラムも簡潔で理解しやすい

本書は全ページがフルカラーで構成され、見た目にもわかりやすい紙面となっています。また、豊富な図解によって仕組みが理解しやすいのはもちろん、VBAのプログラムも短く簡潔に記述しており、「自己流であやふやになっていた基本」をおさらいしやすいよう工夫されています。

■紙面イメージ

### Lesson 07 VBAの基本構文をおさらい

365-2021-2019-2016 対応

マクロの基本操作はわかりました。では、VBAでExcelを操作するのに、最初に学習することは何ですか？

まず、オブジェクトとコレクション、プロパティ、メソッドの概要を覚えることが大切です。ここでおさらいしましょう。

#### ■オブジェクトとコレクション

ここでは、オブジェクトとコレクションの概要について復習します。オブジェクトとコレクションは何か、どのような関係があるかを確認してください。

●オブジェクトとは

「オブジェクト」とは、「操作の対象」となるものです。Excelでは、ブックやワークシート、セルが主なオブジェクトになります。そのほかに、グラフや図形、罫線、フォントやセルの内部などもオブジェクトとして扱います。

●主なオブジェクト

- セル: Rangeオブジェクト
- ブック: Workbookオブジェクト
- フォント: Fontオブジェクト
- セル内部: Interiorオブジェクト
- グラフ: ChartObjectオブジェクト
- ワークシート: Worksheetオブジェクト
- 罫線: Borderオブジェクト

●ブックの指定例(詳細はレッスン31参照)

Workbooks("Book1.xlsx")	[Book1.xlsx]ブック
Workbooks(1)	1番目に開いたブック

●ワークシートの指定例(詳細はレッスン31参照)

Worksheets("Sheet1")	[Sheet1]シート
Worksheets(2)	左から2番目のシート

●セルの指定例(詳細はレッスン17参照)

Range("A1")	セルA1
Range("A1:C3")	セル範囲A1~C3

●コレクションとは

同じ種類のオブジェクトの集まりを「コレクション」といいます。例えば、開いているすべてのブックの集まりをWorkbooksコレクション、ブック内のすべてのワークシートの集まりをWorksheetsコレクションといいます。また、コレクション内の一つひとつのオブジェクトを「メンバー」といいます。例えば、[Sheet1]シートは、Worksheetsコレクションのメンバーです。

●主なコレクション

- Workbooksコレクション
- Worksheetsコレクション

よく使うマクロをVBAの基本構文からおさらい。仕組みから理解できる

### Lesson 55 [姓]列と[名]列を[氏名]列にまとめる

365-2021-2019-2016 対応

前レッスンでは、1つの列を複数の列に分割しましたが、逆に[姓]列と[名]列を[氏名]列にまとめるには？

複数の列を1つにまとめる方法として、列と列を「&」でつなげるのがシンプルですがいいと思います。

#### ■複数のセルの値を連結

「&」(アンバサント)を使うと、文字列と文字列を連結させて一続きの文字列にすることができます。列と列を連結するにも「&」を使います。

●&(アンバサント)

●構文

文字列1 & 文字列2

解説: 引数「文字列1」や引数「文字列2」には、「商品」のように「\*」で囲んだ文字列を指定したり、セルの値や変数、計算式の結果を指定したりすることができます。

●使用例:[姓]と[名]を[氏名]列にまとめる

```

Sub 列結合()
Dim i As Integer
With Range("A1").CurrentRegion.Columns(2)
For i = 1 To .Rows.Count - 1
.Cells(i).Offset(i, 1).Value = _
.Cells(i).Offset(i, 1).Value & " " & _
.Cells(i).Offset(i, 1).Value
Next
.Offset(1, 1).Delete
.Cells(1).Value = "氏名"
End With
Range("A1").CurrentRegion.Columns.AutoFit
End Sub
    
```

解説: ①セルA1を含む全体(アクティブセル領域)の2列目について以下の処理を実行する。②変数iが1から「表の行数-1」(データ行数)になるまで以下の処理を繰り返す。③2列目の1つ目のセル(姓)のセルのi行下のセルに、1つ目のセルのi行下のセルの値、全角のスペース、1つ目のセルのi行下の1列目のセルの値を連結した文字列を代入する(これをアーク作業繰り返し返す)。④2列目の1つ目のセル(名)の列を削除する。⑤2列目の1つ目のセルに「氏名」と入力する。⑥セルA1を含むアクティブセル領域のすべての列の列幅を文字長に合わせて自動調整する。

A	B	C	D	E
1	NO	姓	名	氏名
2	1001	井田	佳純	302-0006 茨城県取手市青柳1-1-x-x
3	1002	野原	加治子	182-0014 東京都調布市常盤2-3-x-x
4	1003	田中	健介	271-0005 千葉県市川市常盤1-0-ハイビス205
5	1004	山田	紀子	830-0045 東京都品川区常盤5-4-x-x
6	1005	和田	北山	596-0077 大阪府東淀川区常盤2-1-2
7	1006	外崎	善一	157-0078 東京都世田谷区常盤2-1-2
8	1007	中野	和	892-0818 鹿児島県鹿児島市山下町4-1-0
9	1008	尾崎	康雄	211-0067 神奈川県川崎市常盤3-1-4

「姓」列と「名」列が「氏名」列に結合した

▼ここがポイント!▼

使用例では、セルA1を含む表の2列目の1つ目のセルを基準にOffsetプロパティでi行下のセルと全角スペース、i行下の1列目のセルの文字列を連結しています。

```

With Range("A1").CurrentRegion.Columns(2)
.Cells(1) 1つ目のセル
.Cells(i).Offset(i, 1).Value & " " & Cells(i, 1).Value
1つ目のセルのi行下のセルの値と全角スペースと1つ目のセルのi行下、1列目のセルの値を連結した文字列
    
```

全ページフルカラーで図解が豊富。プログラムも簡潔で理解しやすい

## ■本書は以下のような方におすすめです

- ・ 研修や独学で一通り学んだが、10年経って基本を忘れてしまった人
- ・ 自己流から抜け出して、もう一度仕組みから理解したいと感じている人
- ・ Excelのマクロ&VBAを使いこなし、仕事の効率化と自動化を図りたい人
- ・ リスキリング・リカレントの一環として最初に手に取る1冊が欲しい人

## ■サンプルファイルを約140本無償提供

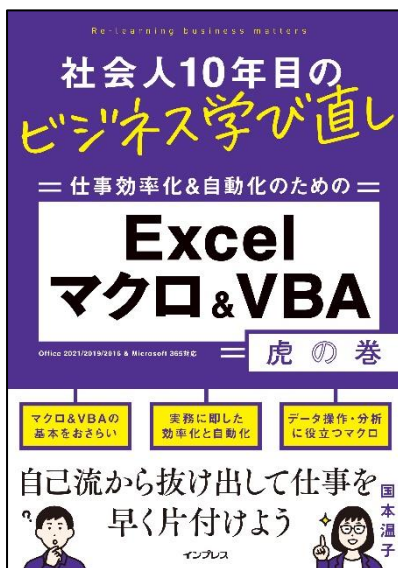
本書で解説するVBAプログラムの動作確認ができるサンプルファイルを約140本無償提供しています。本書のサポートページよりダウンロードしてご利用ください。

<https://book.impress.co.jp/books/1122101188>

## ■本書の構成

- 第1章 マクロ&VBAの基本をおさらいしよう
- 第2章 セルに書式設定&編集する実用マクロ
- 第3章 ワークシートやブックを上手に扱うための実用マクロ
- 第4章 表などのデータ操作のための実用マクロ
- 第5章 データ分析のための実用マクロ
- 第6章 マクロをより実務的に使うための知識を蓄えよう
- 付録 VBA関数とマクロの有効化について

## ■書誌情報



書名：社会人10年目のビジネス学び直し 仕事効率化&自動化のためのExcelマクロ&VBA虎の巻

著者：国本温子

発売日：2023年9月26日（火）

ページ数：328ページ

サイズ：A5判

定価：1,980円（本体 1,800円＋税10%）

電子版価格：1,980円（本体1,800円＋税10%）※インプレス直販価格

ISBN：978-4-295-01782-0

◇Amazonの書籍情報ページ：

<https://www.amazon.co.jp/dp/4295017825>

◇インプレスの書籍情報ページ：

<https://book.impress.co.jp/books/1122101188>

◇書影ダウンロード：<https://dekiru.net/press/501782.jpg>

## ■著者プロフィール

国本温子（くにもと・あつこ）

テクニカルライター、企業内でワープロ、パソコンなどのOA教育担当後、OfficeやVB、VBAなどのインストラクターや実務経験を経て、フリーのITライターとして書籍の執筆を中心に活動中。主な著書に『できる大事典 Excel VBA 2019/2016/2013&Microsoft 365対応』『できる逆引き Excel VBAを極める勝ちワザ716 2021/2019/2016&Microsoft 365対応』『できるExcel マクロ&VBA Office 2021/2019/2016 & Microsoft 365対応』（共著：インプレス）、『Excel マクロ&VBA [実践ビジネス入門講座] [完全版]第2版』（SBクリエイティブ）などがある。

**【株式会社インプレス】** <https://www.impress.co.jp/>

シリーズ累計 7,500 万部突破のパソコン解説書「できる」シリーズ、「デジタルカメラマガジン」等の定期雑誌、IT 関連の専門メディアとして国内最大級のアクセスを誇るデジタル総合ニュースサービス「Impress Watch シリーズ」等のコンシューマ向けメディア、「IT Leaders」をはじめとする企業向け IT 関連メディアなどを総合的に展開・運営する事業会社です。IT 関連出版メディア事業、およびデジタルメディア&サービス事業を幅広く展開しています。

**【インプレスグループ】** <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証スタンダード市場 9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

**【本件に関するお問合せ先】**

株式会社インプレス 広報担当：丸山

E-mail: [pr-info@impress.co.jp](mailto:pr-info@impress.co.jp) URL : <https://www.impress.co.jp/>

※弊社はテレワーク推奨中のため電話でのお問い合わせを停止しております。メールまたは Web サイトからお問合わせください。